

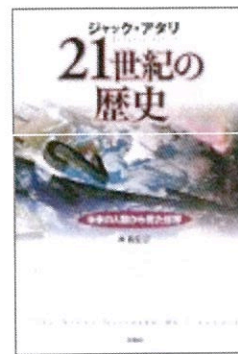


慶應義塾大学教授  
中村 伊知哉

## 21世紀の歴史 未来の人類から見た世界 (ジャック・アタリ著、作品社)

### 選んだ理由

経済学や哲学をベースとしつつ、欧州の政界・産業界をリードしてきた作家ジャック・アタリの力作。数千年の人類史を読み返しつつ、2100年の国家、資本主義、民主主義を展望する。30代で彼を大統領補佐官にしたミッテランも慧眼だが、フランスを酷評する本書に感銘を受けて大統領諮問委員会「アタリ政策委員会」を設置したサルコジもなかなかのもの。そうした幸せな産学官関係が日本に作られるのはいつのことか。なお、国際的なガバナンスを読み解く書物として、私の元上司でITU前事務総長の内海善雄さんが書いた「国連という錯覚」(日本経済新聞出版社)もおすすめ。



画像提供：アマゾン  
(アマゾンの  
サイトにリンクしま  
す)

vol.57  
2008.12.29